

<p style="text-align: center;">英語 II (English II)</p>	<p style="text-align: center;">2年・通年・3単位・必修</p> <p style="text-align: center;">電気工学科：担当 神澤 和明</p>	
<p>[準学士課程 (本科1～5年) 学習教育目標 (3)]</p>		
<p>[講義の目的] 「読む・書く・話す・聞く」の4技能を総合的に学習し、1年次に身に付けた基礎的な文法、構文の学力に基づいて、発展的に発話力や読解力や作文力や語彙力を身につけることを目的とする。国際社会で交流する際に必要な、外国の歴史や文化や考え方に対する理解も更に一層深まるように指導したい。</p>		
<p>[講義の概要] 教材毎に、精読、速読、コミュニケーションに重点を置いて指導するが、文法力や作文力や発話力の更なる育成を目指す。精読では、文法や構文に留意して正確な英文解釈、内容把握をさせる。速読では、英語の流れに従って、短時間に正確にポイントを把握させる。コミュニケーションでは、積極的に英語を運用させる。</p>		
<p>[履修上の留意点] 新出単語・連語は必ず予習すること。各レッスンのまとめにある文法事項を理解し、作文できるようにすること。毎週実施される単語テストは語彙力をつけるために必要であるので真剣に取り組むこと。</p>		
<p>[到達目標] 各レッスンの内容把握を深めるために、新出文法事項を理解し、運用できるようにしたり、新出単語や熟語の定着を図るように指導する。 前期中間試験：Lesson 1～Lesson 2 ①It の用法(1)②have/get+目的語+過去分詞 ③受動態[群動詞] ④受け身の動名詞 前期末試験：Lesson 3～Lesson 5 ①複合関係詞②関係副詞[非制限用法]③仮定法④無生物主語⑤強調構文 後期中間試験：Lesson 6～Lesson 7 ①動名詞 ②不定詞(1) ③関係代名詞(1)④語順・同格 学年末試験：Lesson 8～Lesson 10 ①There 構文②関係代名詞(2)③倒置④不定詞(2)⑤省略⑥関係代名詞(3)⑦分詞構文</p>		
<p>[評価方法] 定期試験成績 60%、小テスト 20%、課題、授業態度点(発言の優劣や回数)20% (合計 100%)</p>		
<p>[教科書] Genius English Communication II (大脩館書店) [補助教材] Word-Meister 英単語・熟語 4500 (第一学習社)(1年時に購入済) 英語の構文 150UPGRADED99Lessons(美誠社)</p>		
<p>[関連科目] 英語 I と英文読解 I に関連するが、テレビやインターネットや新聞雑誌等の英語に関する情報や未知の単語や表現に一層注意を払いながら、自分の英語の学力や発話力を絶えず brush up するように努めてほしい。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス、Lesson 1 <i>Hanamizuki</i>	日米交流の架け橋としてやってきたハナミズキ。今日も平和を願いながら咲き誇る。It の用法(1)[It seems that~, It takes/costs~]。have/get+目的語+過去分詞。	
第2週			
第3週			
第4週	Lesson2 <i>Learning Language, Learning Self</i>	外国語を学ぶことはその背景にある文化も含めて学ぶこと。受動態[群動詞, It's said/believed~, get +過去分詞。受け身の受動態[being+過去分詞]	
第5週			
第6週			
第7週	Lesson 3 <i>Nature</i>	自然からヒントを得て、より地球に優しい技術が生まれ	
第8週	前期中間試験		
第9週	<i>Technology</i>	る。複合関係詞[複合関係代名詞, 複合関係形容詞, 複合関係副詞]。関係副詞[非制限用法]。	
第10週			
第11週	Lesson 4 <i>Ahmed's Gift of Life</i>	子供を失った父親は意外な方法で戦争に NO を突きつけた。仮定法[I wish~, as if~, were to~, if S should~, if it were not for~, if it had not been for~]。	
第12週			
第13週			
第14週	Lesson 5 <i>The World of Miyazawa Kenji is Our World</i>	宮沢賢治が 21 世紀の私達につたえようとしていることとは。無生物主語。It の用法(2)[強調構文]。	
第15週			
前期末試験			
第16週	Lesson 5		
第17週	Lesson 6 <i>Machu Picchu: City in the Clouds</i>	マチュピチュは何のために作られたのか。謎を解くカギが近年明らかに。動名詞[having+過去分詞。不定詞(1)[to have+過去分詞]。	
第18週			
第19週			
第20週	Lesson 7 <i>Paul Klee: A Musical Painter</i>	バウル・クレーは絵画と音楽の融合を目指していた。関係代名詞(1)[関係代名詞+I think など, what の慣用表現]。語順・同格。	
第21週			
第22週	後期中間試験		
第23週	Lesson 8 <i>Emotions Gone Wild</i>	動物も人間と同じように複雑な感情を持っているのだろうか?。There 構文[There+be 以外の動詞]。関係代名詞(2)[二重限定]。	
第24週			
第25週			
第26週	Lesson 9 <i>Michael J. Sandel on Kant: Freedom and Morality</i>	サンデル教授が語るカントにとっての自由と倫理とは?。倒置。不定詞(2)[独立不定詞]。省略。	
第27週			
第28週			
第29週	Lesson 10 <i>Donald Woods: Real Journalism Takes Courage</i>	一人のジャーナリストがアパルトヘイトに立ち向かい歴史を動かした。関係代名詞(3)[前置詞+関係代名詞, 文や節を受ける which]。分詞構文。	
第30週			
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した、3 : はほぼ理解した、2 : やや理解できた、1 : ほとんど理解できなかった、0 : 全く理解できなかった、

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)